カトリック鈴蘭台教会　**週報**　2023(令和5)年8月6日

今日(8月6日）の聖歌

入祭：148/①⑤ 奉納：32/①② 拝領中：61/①② 拝領：オルガン閉祭：29①②

今週

1. **今日ミサ後**　ヨセフ会を開催しますのでお集まり下さい。
2. ８日（火）　ミサはお休みです。
3. 11日（金）　ミサはお休みです。

各委員会・係からのお知らせ

1. **教会評議会より・**

15日（火）の聖母の被昇天のミサは、9：30からです。ミサ後茶話会を行います。どうぞご参加ください。

2. **社会活動委員会より・**

①10日（木）第二木曜日は、炊き出し担当日です。困難な現実に直面している方々を力づけるためご協力お願いします。またこの炊き出しのため『お米一握り運動』のお米の寄贈と『炊き出し募金』ご支援お願いします。

②10月22日の日曜日にバザーを予定しています。バザーに出品する寄贈品(・新品または未使用品に近いもの・食品は賞味期限に余裕のあるもの・衣類は不可)をお願いします。また出品カードに記載して信徒館入口横のボックスにお持ちください。なお寄贈品は持参時にバザー委員にお声がけをよろしくお願いします。(不明な点はバザー委員にお聞きください。)

③毎月の第一・第二日曜日にカリタスジャパンによる「ウクライナ危機人道支援」の募金をお願いしていますが、今月分は、ウクライナから日本に避難してこられた方々への支援に充てたいと思います。信徒館後方机上に募金箱を置いていますので、引き続きご支援よろしくお願いいたします。なお、ウクライナから北区大池に避難してこられた方に、9月3日（日）の平和旬間ミサの際お話をしていただく予定をしています。

3. **レジオ・マリエより・**

8月28日は安神父様の霊名、聖アウグスティヌスの記念日です。安神父様に霊的花束をお贈りいたしましょう。信徒館机上に用紙を用意していますのでロザリオの祈りやその他の祈りの回数をご記入ください。締め切りは8月27日(日)とさせていただきます。

4. **聖書リレー朗読会参加報告・**

聖書リレー朗読会が7/16～7/25の10日間、クリスチャンセンター・バイブルハウスチャペルにて行われ、神戸市及びその周辺のカトリック教会、プロテスタント教会からのべ400人の参加者があり、100時間にわたって聖書リレー朗読会が行われました。当教会からも2名参加しました。聖書朗読の際には、一語一語の語尾を明瞭に、間の工夫など学びがありました。次回開催時には皆様の参加、ご協力よろしくお願いいたします。

5. **その他・**

①ミサ参加にあたってのお願い

(a)　自宅で検温を行い､熱があるなど体調不良の場合は､ミサへの参加を自粛してください。
(b)　ミサ参加時は、マスクを着用してください。
(c)　入館は信徒館入口から行ってください｡その際アルコールでの手指消毒をお願いします。
(d)　今後もミサ中上部窓開放、下部窓より排気など換気を十分に行います。各自自主的に対

策をし、体調管理に十分ご留意ください。

②8 月主日ミサ等司式司祭

主　日	司　式　司　祭
8 月 13 日(日)	安　旻祐神父
8 月 15 日(火)	安　旻祐神父
8 月 20 日(日)	安　旻祐神父
8 月 27 日(日)	安　旻祐神父

大阪教区カンボジア教会の日の献金について

大阪大司教　前田万葉

†　主の平和

セミの鳴き声が元気を増しているのを聞いていると、あらためてめぐってくる季節の変化や時間の流れを実感します。子どもの頃は一日が大変長く、学校の帰りに遊びまわっても日はまだ残っていたのですが、年を重ねるにつれて、瞬く間に一日が過ぎてしまうように感じるのはなぜだろうと不思議がったりします。この感覚は自分という時計の古さによるもので、人生の内に残された時間を考えてみると、これから何回の夏が残っているだろうとの懐かしさが沸いてきて、結局、今日を幸せに生きること、その大事さに気づきます。

さて、大阪教区では 8 月の第一日曜日(今年は 8 月 6 日)をカンボジア教会の日として、皆様に献金の協力をお願いしています。「全世界に広がっている」教会の一員としての意味を考えてみる良いきっかけかと思います。私たちは、御父への主の祈りの中で「私たちの父よ」と呼んでいることからも皆が兄弟姉妹であることは明らかなことです。貧しい人に、余裕のある人が施しをすることを慈善行為といいますが、兄弟姉妹の間では慈善を施すとは相応しい言い方ではなく、助け合うと言ったほうが適切だと思います。カンボジア教会のために、私たちが彼らを助けることは、決して、裕福な方が貧しい方に支援をするようなものではありません。何故なら、人間というものは、根本的にその存在から「貧しい」ものだからです。神様の前で、誰が、自分は満ち足りていて、何も欠けるものがないと自惚れる人がいるのでしょうか。

貧しくもせず、金持ちにもせず
わたしのために定められたパンで
わたしを養ってください。(箴言 30.8)

上記の箴言の言葉から、神様の前で謙虚な態度で生きていくべく、私たちの有様を学ぶことができます。欲張るのはなく神様にだけ託す、すべてを委ねていくのです。こういった態度の持ち主は、相手を、自分より貧しい人を決して見下すことはないでしょう。相手を何かの基準で判断するのではなく、兄弟姉妹という考え方から振舞うからです。私たちは、教皇フランシスコがおっしゃっているように、皆が兄弟姉妹(Fratelli　tutti)なのです。

昨年、皆さまにご協力いただいた「カンボジア教会の日の献金」は 1,579,688 円でした。誠にありがとうございます。今年もご協力いただければ幸いです。

皆様に神様の豊かなお恵みがあるようにお祈りいたします。

祈りと感謝のうちに

本日の堂内献金はこのために捧げられますので、よろしくお願いいたします。